

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公開番号】特開2002-171803(P2002-171803A)

【公開日】平成14年6月18日(2002.6.18)

【出願番号】特願2001-267254(P2001-267254)

【国際特許分類】

A 01 B	35/00	(2006.01)
B 60 K	17/28	(2006.01)
F 16 H	7/06	(2006.01)
F 16 H	57/02	(2006.01)

【F I】

A 01 B	35/00	B
B 60 K	17/28	C
F 16 H	7/06	
F 16 H	57/02	3 0 3 E
F 16 H	57/02	3 2 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月29日(2008.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】 走行機体の後部にヒッチフレームを介して着脱可能に連結され、該走行機体から動力を受け、元畦の一部及び圃場を耕耘して元畦側に畦状に盛り上げる前処理体、及びこの前処理体により耕耘された土壤を回転しながら畦に成形するドラム状の整畦体を備えた畦塗り機において、

畦塗り機の主フレームと前処理体及び整畦体に動力を伝達する伝動ケースを兼ねるエンケースの基端部に回転軸を設け、この回転軸を中心にして前処理体及び整畦体を同時に回動させることにより、畦塗り機の作業位置と非作業位置とを選択可能と共に、上記回転軸に、畦塗り機が作業位置に回動されたときは接続され、畦塗り機が非作業位置に回動されたときは接続が解除されるクラッチを設けたことを特徴とする畦塗り機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために本発明は、以下の構成を特徴としている。

A. 走行機体の後部にヒッチフレームを介して着脱可能に連結され、該走行機体から動力を受け、元畦の一部及び圃場を耕耘して元畦側に畦状に盛り上げる前処理体、及びこの前処理体により耕耘された土壤を回転しながら畦に成形するドラム状の整畦体を備えた畦塗り機において、畦塗り機の主フレームと前処理体及び整畦体に動力を伝達する伝動ケースを兼ねるエンケースの基端部に回転軸を設け、この回転軸を中心にして前処理体及び整畦体を同時に回動させることにより、畦塗り機の作業位置と非作業位置

とを選択可能と共に、上記回転軸に、畳塗り機が作業位置に回動されたときは接続され、畳塗り機が非作業位置に回動されたときは接続が解除されるクラッチを設けた。